

③ アンテナ本体を取付金具に取り付けます。

アンテナ本体を「バチン」と音がする所までしっかり奥に押し込んでください。

角柱やアンテナマストと平行になるように押し込んでください。

アンテナ本体

取付金具(付属)

取付け終了

14ページ

step 3 の調整へ

アンテナの方向調整を行なうため、アンテナ本体を手で動かせる程度に六角ボルトを軽く締めてください。

アンテナを向ける方向により、ボルト固定位置を選択してください。

必ず3か所のいずれかで固定

凹が取付金具で隠れるまで、奥に押し込んでください。

注意 左右の凹にセットする場合は、38mm以上の角柱(奥行)やアンテナマスト(直径)に取り付けてください。

ベランダ用取付金具(別売)を使用した取付例：45×45mmを超える角柱

詳しくはご購入店、工事店にご相談ください。

適合角柱(下記断面図参照)
最大：105×115mm

ベランダ用取付金具(別売)
型番：MV30ZM

直径49mmを超えるマストに取り付ける場合

市販のステンレスバンド(幅10mm×2本)を使用してください。

マスト・自営柱等

ステンレスバンド通し穴(上下に2か所ずつ)

2本掛け

上記③④にしたがってアンテナ本体を取り付けてください。

3 アンテナにケーブルを接続します。(他の機器への接続方法は12~13ページをご覧ください。)

アンテナ本体を(仮)固定後にケーブルを接続する場合は、アンテナ受信面を左右いっぱい(60°)に傾けて、接続する端子を間違えないように注意してください。接続を間違えると故障の原因となります。

接栓締めトルク 1~2N・m
目安：付属のスパナのEから10cm離れた所で1~2kgfの力をかけます。

心線が曲がっている場合はまっすぐに直してください。

防水キャップ(付属品)

接続ナット

防水キャップは、締付ナットの対辺が12mm以下であれば、接栓加工後でも取り付けることができます。

注意 防水キャップに接栓付き同軸ケーブルを通すときに、心線で手を突き刺すなどのケガをしないようにご注意ください。

禁止 テープを巻かない
防水キャップにテープを巻くと、内部に水がたまり故障の原因となります。

(注1) 5C相当同軸ケーブルの曲げ半径は、半径30mm以上にしてください。ケーブルの引き回しや固定方法は下記「便利な機能②」を参考にしてください。

便利な機能② ケーブルの固定方法

1 ケーブルクランプを使用します。(左右にあります)

出力端子とテレビを接続する同軸ケーブルの固定方法は左図①~③の3つの方法から選択してください。

注意 ケーブル接続後は、ケーブルが風でゆれたりしないように必ず固定してください。

ただし、方向調整後(14ページ)に固定方法を変更する場合がありますので、調整が終了するまでは、完全に固定しないでください。

2 市販のタイラップ等で取付金具に固定します。

3 3か所のボルト固定位置で、使用していない溝穴に同軸ケーブルを通して固定します。(イラストでは取付金具を省略しています。)

step 2 ケーブルを接続する

1 同軸ケーブルに、F形接栓(付属品)を取り付けます。

(例：5C相当同軸ケーブル使用)(単位:mm)

心線をニッパーで斜めに加工する

同軸ケーブルに防水キャップをくはし始める

心線 絶縁体

アルミ箔 リングを通過

リングを折り返す

接続ナット シェル

アルミ箔とリングの間にシェルを押し込む

リングをペンチなどではさんで締め付ける

ペンチ

注 編組で指を傷つけないように気をつけてください。

注 アルミ箔は折り返さないでください。

注 心線は接続ナットから出る部分の長さが3mmを超えないようにしてください。心線がアースと接触してショートする場合があります。

注 心線に白い膜が残っている場合は、接触不良の原因となりますので、必ずこすり落してください。

2 屋内にケーブルを引き込みます。

アンテナとテレビをつなぐ同軸ケーブル(別売)を屋内に引き込みます。

壁面の穴

市販のパテ等で穴をふさいでください

上方より引き込む場合、雨水が同軸ケーブルを伝って、屋内に入らないように、たるみをもたせてください。

同軸ケーブル(別売)

同軸ケーブル(別売)をたるませる

壁面の穴

市販のパテ等で穴をふさいでください

エアコンの配管ダクト

同軸ケーブル(別売)

その他のケーブル引込方法

窓ワクのすき間を利用して配線する方法です。下図のようにフラットケーブル(別売)を使用してください。

同軸ケーブル(別売)

窓ワク

フラットケーブル(別売)

アルミサッシ等

できる限り、頻繁に開閉しない窓枠側に取り付けるようにしてください。

9 10 使用例

下記①~③の使用例を参考に接続、配線してください。

1 BS・110度CSアンテナと混合する場合の例

電波到来方向(受信方向)

電波塔

背面

背面の出力端子へ

出力端子

混合器(別売)☆(注3)

同軸ケーブル(別売)☆ DC15V

BS・110度CSアンテナ(別売)☆(注2)

同軸ケーブル(別売)☆

分波器(別売)☆

テレビ(別売)☆(注1)

DC15V (BS・110度CSアンテナ用)

(注1) テレビのCS/BSコンバーター用電源の供給機能を「入」または「ON」にしてください。詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

(注2) このアンテナを取り付ける際は、本製品の受信を妨害しない場所に設置してください。

(注3) 混合器にUHFブースター用の通電機能がある場合は、必ず「切」または「OFF」にしてください。

(注4) BS・110度CSアンテナが4K・8K対応の場合、4K・8Kの映像を見るには、☆印の機器は4K・8Kに対応している必要があります。

2 前置ブースターを使用する場合の例(電波を強くしたいとき)

ケーブルを長くひき回したり、テレビやブルーレイレコーダーなどを増設する場合に、足りなくなった電波を増幅する(補う)ために前置ブースターを使用します。

電波塔

背面

出力端子

背面の出力端子へ

F形接栓(付属品)

同軸ケーブル(別売)

別売の前置ブースターを取り付けることができます。(詳細は前置ブースターの取扱説明書をご覧ください。)

別売の前置ブースターに付属する電源部

テレビ(別売) (注5)

AC100V (注6)

DC15V

(注5) テレビのCS/BSコンバーター用電源の供給機能は「切」または「OFF」にしてください。ブースター用電源に電気が流れるとショート状態になり、テレビの保護回路がはたらいでテレビ画面が映らなくなり、エラーメッセージがでますのでご注意ください。

(注6) ブースター本体ではありませんので、ご注意ください。